

「オーディオの使い方」は機種別に説明していますので、あなたのお車に該当するページをお読みください。

ページ

オーディオの上手な使い方

76

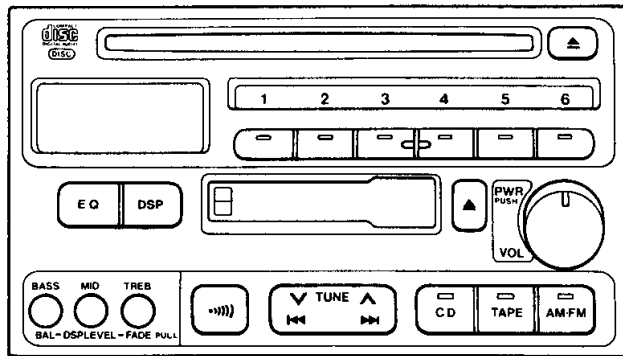
アンテナについて

77

CD、カセット一体AM/FMラジオ(DSP付き)

注文装備

78

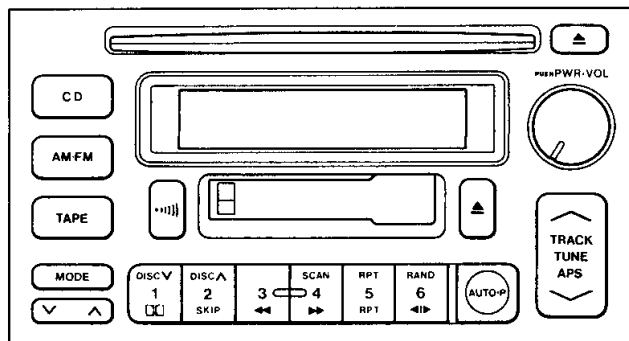


CD、カセット一体AM/FMラジオ

GTに標準装備

GT-S、G-LIMITED、Gに注文装備

86



オーディオの使い方

オーディオの上手な使い方



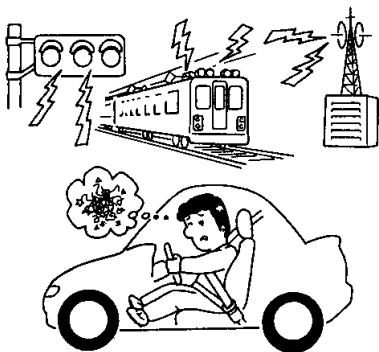
走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。

安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。



オーディオを聞いているときに車内または車の近くでデジタル携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

ラジオ



- ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

カセット

- ヘッド周辺部（ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー）はよごれやすいので、1カ月に1回程度はクリーニングテープでクリーニングしてください。



オーディオの使い方

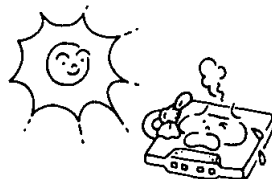


- ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるカセットテープを使用しないでください。回転不良やカセットテープを取り出せなくなるおそれがあります。



- カセットテープは、90分以下用のものをご使用ください。90分を超える長時間用テープは、テープの厚さが非常に薄いため、カセットデッキに巻き込むおそれがあります。

- カセットテープは、直射日光を避けて保管してください。テープがひずみ使用できなくなるおそれがあります。



- カセットプレーヤーにオイルをぬったり、金属や磁気をテープ差し込み口にいたりしないでください。カセットプレーヤーの故障の原因になります。

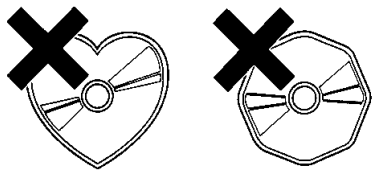
CD

- このプレーヤーは、下のマークのついたCD以外は使用できません。



アドバイス

ハート型や八角形など特殊形状のCDは再生できません。機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露(水滴)が生ずることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。



アドバイス

- 8cm CDを使用するときはアダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。
- CD取り出しボタンを押して、CDが飛び出した状態のまま長時間放置しないでください。CDがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- CDは直射日光を避けて保管してください。CDがそり、使用できなくなるおそれがあります。



アンテナについて

埋め込み式

GTに標準装備

GT-S、G-LIMITED、Gに注文装備

フロント窓ガラスに埋め込まれています。

電動式

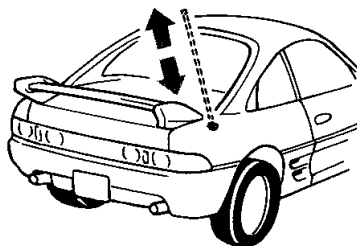
ラジオの電源がはいると上昇し、電源が切れると下降・収納されます。

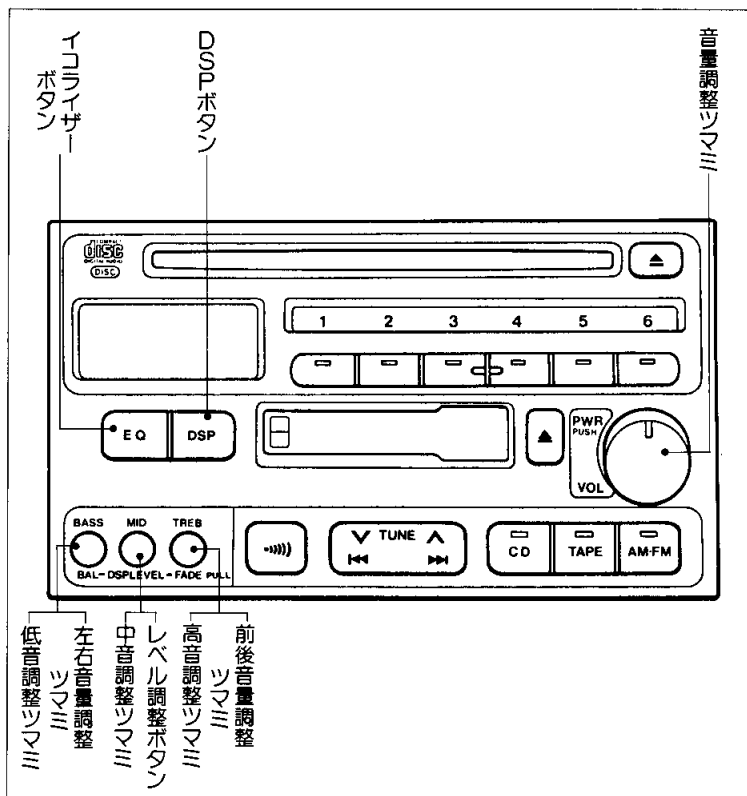
ラジオを聞いているときにテープまたはCDを再生するとアンテナは収納されます。



注意

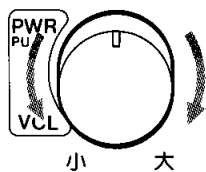
ラジオの電源をいれるときやエンジンをかけるときは、アンテナ周囲の安全を確認してから行ってください。





音量調整のしかた

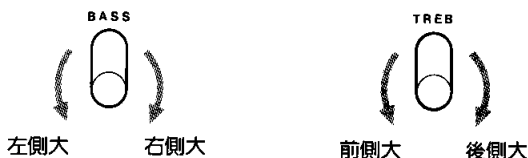
音量



ツマミを押し、とび出した状態からさらに手前に引いて調整します。

左右音量

前後音量



知識 DSPボタンがOFFのときのみ左右音量、前後音量調整ができます。

音質調整のしかた

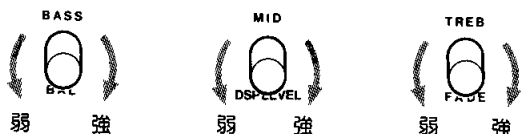
手動調整

ツマミを押し、とび出した状態で調整します。

低音

中音

高音

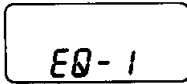


イコライザー

あらかじめセットしてある音質が選択できます。

新車時には表のようにセットしてあります。

イコライザーボタンを押すごとに音質が変わります。



イコライザー表示

表示と働き

表示	働 き
EQ-1	強調はされません。(フラット)
EQ-2	低音と高音が強調されます。
EQ-3	低音が強調されます。
EQ-4	高音が強調されます。
EQ-5	中音域が強調されます。

イコライザーの音質をお好みの音質に記憶しなおすこともできます。

セットするには

- ① イコライザーボタンを押して、記憶させたい表示にします。
- ② 調整ツマミでお好みの音質にします。
- ③ イコライザーボタンをピッと音がするまで押し続けます。

新車時のセット状態にもどすには

- ① イコライザーボタンを押して、もどしたい表示にします。
- ② イコライザーボタンをピッと音が2回(1回目は約2秒、2回目はさらに約8秒)するまで押し続けます。
すべてのモードをもどすには、さらにピッと音がするまで(約10秒)押し続けます。

音場調整のしかた

あらかじめセットしてある音場が選択できます。

DSPボタンを押すごとに音場が変わります。

新車時には表のようにセットしてあります。

表示と働き

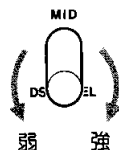
表示	働 き
HALL	コンサートホールをイメージした音場
LIVE	ライブハウスをイメージした音場
CATHEDRAL	大聖堂をイメージした音場
DOME	スタジアムをイメージした音場
表示なし	音場効果なし(DSPはOFF)

お好みのDSPレベル(音場効果量)に調整することもできます。

調整のしかた

レベル調整ツマミを押し、とび出した状態からさらに手前に引いて調整します。

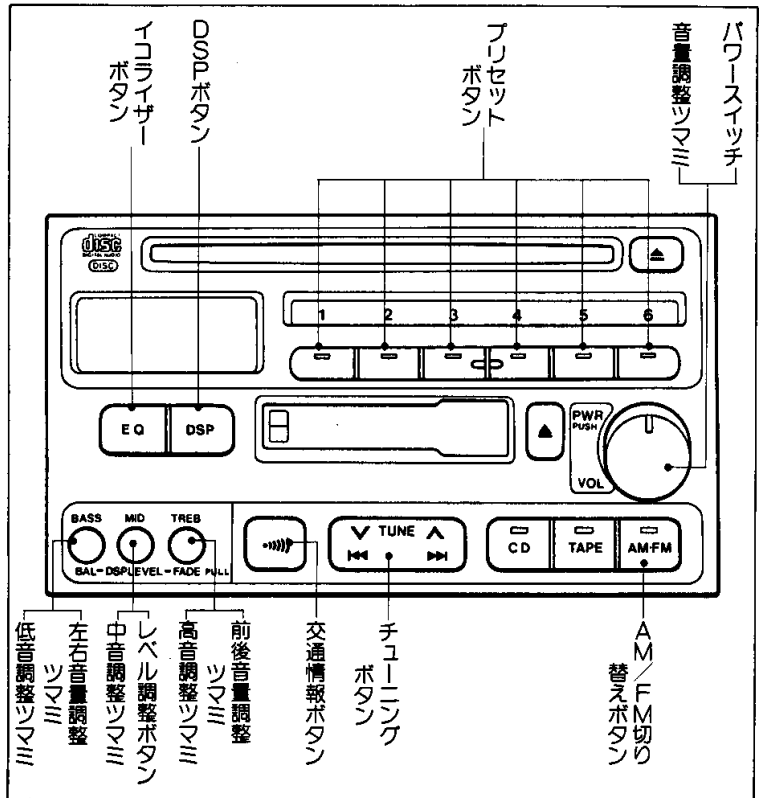
調整したレベルが自動的に記憶されます。



新車時のセット状態にもどすには

DSPボタンをピッと音がするまで押し続けます。
すべてのモードをもどすには、さらにピッと音がするまで(約10秒)押し続けます。

ラジオを聞くには



ラジオを聞くには

- ① エンジンスイッチをONまたはACCにします。
- ② AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM（1または2）放送の選択をします。
- ③ チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

ラジオをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと受信されます。

選局をするには**自動選局をするには**

チューニングボタンをピッという音がするまで押し続けます。

- 高い方へ選局するときは∧側
- 低い方へ選局するときは∨側

もう一度押すと解除されます。



受信電波が弱く自動選局できないことがあります。

手動選局をするには

チューニングボタンを押します。

- 高い方へ選局するときは∧側
- 低い方へ選局するときは∨側

放送局を記憶させるには

プリセットボタン1～6に希望の放送局を記憶させることができます。

- 1 チューニングボタンで記憶させたい放送局にあわせませす。
- 2 プリセットボタンをピッという音がするまで押し続けます。

- プリセットボタン1つにつきAM1局、FM2局の3局を記憶させることができます。

交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

交通情報を聞くには

交通情報ボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



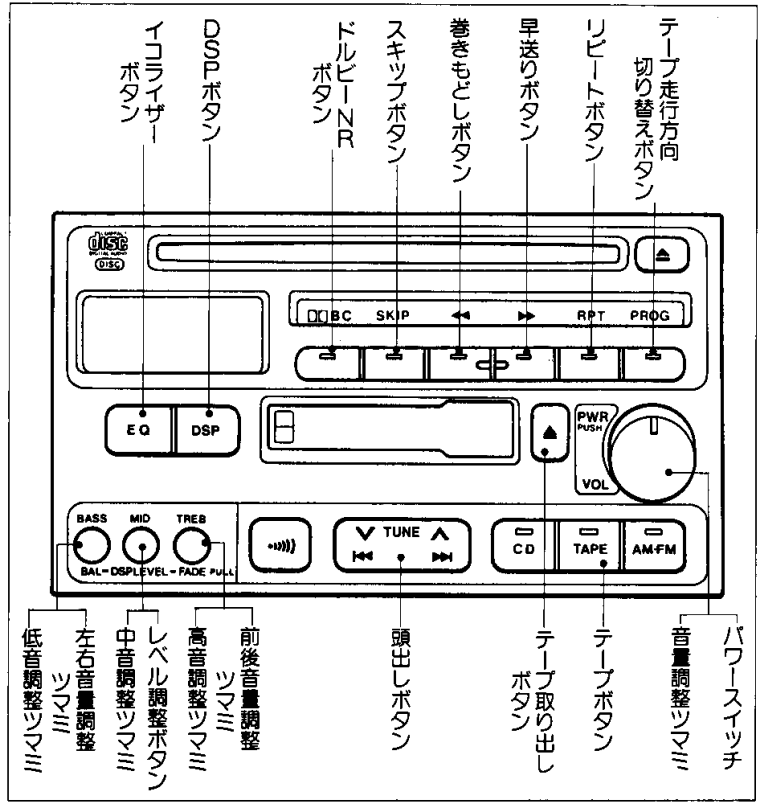
- 交通情報ボタンで受信中は、チューニングボタン、プリセットボタンを押しても切り替わりません。
- 新車時、またはバッテリーとの接続が断れたときには、周波数は1620kHzになっています。

セットするには

- 1 チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせませす。
- 2 交通情報ボタンをピッという音がするまで押し続けます。

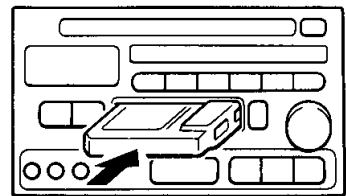


テープを聞くには



テープを聞くには

- 1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。
- 2 テープ差し込み口にテープを差し込みます。
テープが差し込まれているときは、テープボタンを押します。



テープをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。

テープを取り出すには

テープ取り出しボタンを押します。
テープが自動的に押し出されます。

ドルビーNRボタンについて

ドルビー*(B)NRまたは(C)NRで録音されたテープを再生するときに使用します。

ドルビーNRボタンを押すごとにドルビー(B)NR、(C)NR、OFFに切り替わります。

●ドルビー(B)NRとドルビー(C)NRは同時に使用できません。

- ・ドルビー(B)NRはテープノイズを約10dB低減します。
- ・ドルビー(C)NRはテープノイズを約20dB低減します。

*ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

テープの走行方向をかえるには

テープ走行方向切り替えボタンを押します。

早送り、巻きもどしをするには

- 早送りをするときには早送りボタンを押します。
 - 巻きもどしをするときは巻きもどしボタンを押します。
- 解除するときにはもう一度押すか、テープボタンを押します。

頭出しをするには(自動選曲)

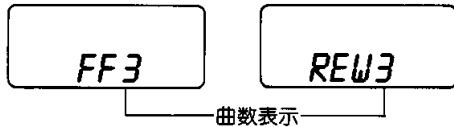
いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

頭出しボタンを押して、頭出しをしたい曲までの曲数を設定します。

解除するときにはもう一度押すか、テープボタンを押します。

- 早送り(FF)をするときは▶▶側
- 巻きもどし(REW)をするときは◀◀側

巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 知識**
- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
 - 曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 知識**
- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
 - 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分をとばして聞くには

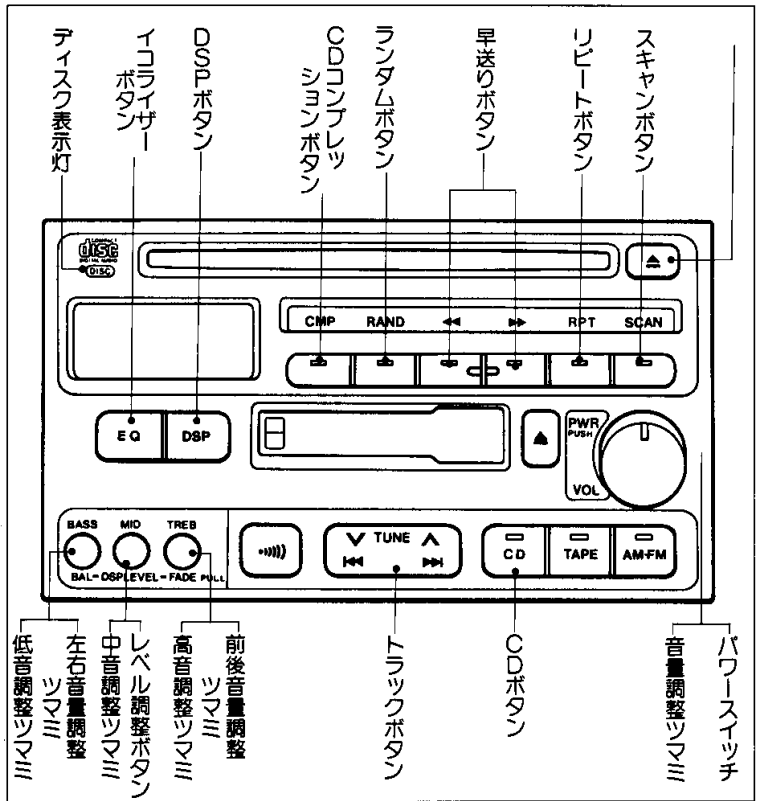
スキップボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 知識**
- 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
 - 曲と曲の間に雑音があるとき
 - 曲の始めと終わりが明確でないとき

CDを聞くには



CDを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 CD差し込み口にCDを差し込みます。

- CDが差し込まれているときは、CDボタンを押します。
- 8 cm CDを聞くときはアダプターを使用せずにCDを聞くことができます。



中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にします。

CDをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。

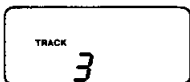
CDを取り出すには

CD取り出しボタンを押します。
CDが自動的に押し出されます。

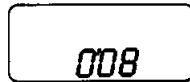
表示切り替えをするには

CDボタンを押すごとに曲番表示と再生経過時間表示に切り替わります。

〈曲番表示〉



〈再生経過時間表示〉



早送りをするには

早送りボタンを押します。

- 進めるときは▶▶側
- もどすときは◀◀側

手を離すと、その位置から再生を始めます。



知識

曲番表示をしているときに早送りボタンを押すと、再生経過時間表示に切り替わります。ただし、手を離すと、約5秒後に曲番表示にもどります。

スキャンボタンについて

曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生します。

① スキャンボタンを押します。

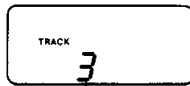
② 希望曲になったらもう一度スキャンボタンを押します。

その曲の再生を続けます。

頭出しをするには(自動選曲)

トラックボタンを押して希望の曲番を選びます。

- うしろにあるときは▶▶側
- 前にあるときは◀◀側



曲数表示



知識

再生経過時間を表示しているときにトラックボタンを押すと、曲番表示に切り替わります。ただし、再生を始めてから約5秒後に再生経過時間表示にもどります。

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

ランダムボタンについて

CDの中からランダムに選曲し、再生します。

ランダムボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

CDコンプレッションボタンについて

室内の騒音等で小さい音が聞きにくいときや、小さい音を聞くために音量が大きくなりすぎるときに使用します。

CDコンプレッションボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



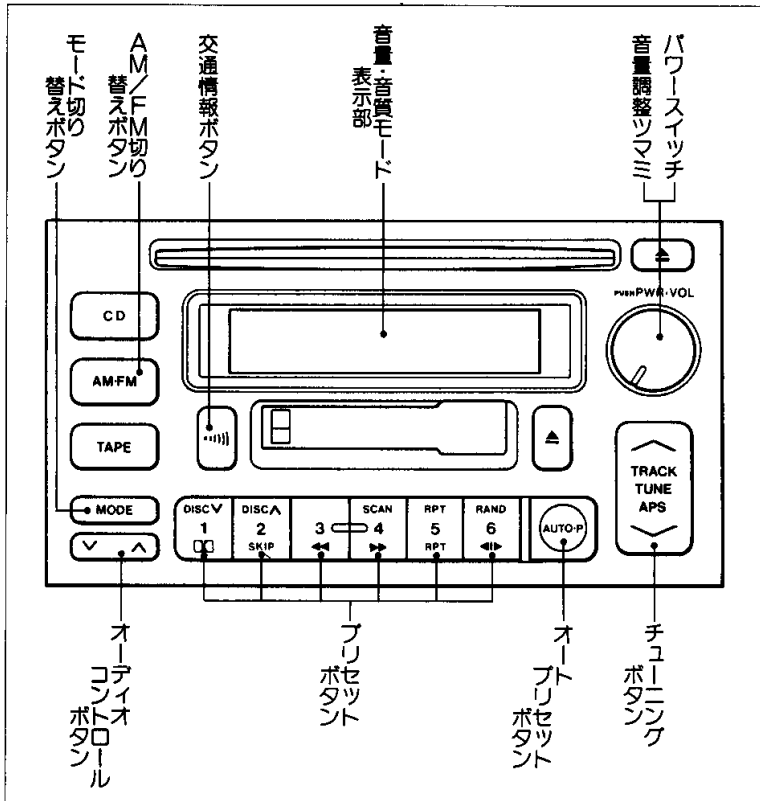
アドバイス

1. プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。この場合次の処置をしてください。

- ディスク表示灯が赤く点灯していないときは、CDボタンを押してください。
- ディスク表示灯が赤く点灯しているときは、内部の温度が異常上昇していますので、CD取り出しボタンを押してCDを取り出し、ディスク表示灯が消えるまでお待ちください。正常に復帰するとディスク表示灯が消えますので、再度CDを差し込んでください。

以上の操作をしても、機能が停止しているときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

2. 8cm CDを使用するときはアダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。

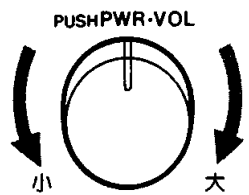


※販売店装着オプションのCDチェンジャーを接続し、操作することもできます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

音量調整、音質調整のしかた

オーディオの使い方

音量



各音量、音質を調整するには

- ①モード切り替えボタンを押して、音量・音質モード表示部に調整したいモードを表示させます。
モード切り替えボタンを押すごとに、下表のように表示が切り替わります。
- ②オーディオコントロールボタンの△側または▽側を押して、選択したモードの調整をします。

調整したいモード	①モード切り替えボタンの操作 (調整レベル表示)	②オーディオコントロールボタンの操作	
	押すごとに表示が切り替わります	▽側を押す	△側を押す
前後音量調整	FAD (F 7~R 7)	前側大	後側大
低音調整	BAS (-5~5)	弱	強
高音調整	TRE (-5~5)		
左右音量調整	BAL (L 7~R 7)	左側大	右側大

ラジオを聞くには

ラジオを聞くには

- ① エンジンスイッチをONまたはACCにします。
- ② AM/FM切り替えボタンを押して、AM、FM放送の選択をします。
- ③ チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。
 選択された放送局の周波数が表示部に表示されます。
 - プリセットボタンでの選局は、あらかじめ放送局を記憶させた場合に可能です。

ラジオをとめるには

パワースイッチを押します。
 もう一度押すと受信が再開されます。

選局をするには

■チューニングボタンで

表示部に表示されている周波数より

- 高い周波数へ選局するときは∧側
- 低い周波数へ選局するときは∨側
を押します。

▶手動選局をするには

ポンと押して、1ステップずつ周波数を変えて選局します。

▶自動選局をするには

ピッと音がするまで押し続けます。

- 受信感度が良く、現在表示部に出ている周波数にいちばん近い放送局を自動で選局します。
- 自動選局中に途中でもう一度押すととまります。



受信電波が弱いと、自動選局できないことがあります。

■プリセットボタンでの選局方法

放送局をあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチで選局できます。

- 記憶させたプリセットボタンの1つを押します。

プリセットボタンに放送局を記憶させる方法は、次ページをご覧ください。

▶プリセットボタンについて

プリセットボタンには、

- マニュアルプリセットモードで記憶させた放送局 (AM、FM各6局)
- オートプリセットモードで記憶させた放送局 (AM、FM各6局)

の計24局を記憶させることができます。

- マニュアルプリセットモードとオートプリセットモードは独立しているので、それぞれのモードで記憶した放送局は、そのモード中のみ選局することができます。

▶プリセットモードの切り替え

オートプリセットボタンを押すごとに、プリセットモードが切り替わります。

- オートプリセットモードになる度に、放送局を記憶しなおします。
- 表示部に「AUTO-P」の表示があるときは、オートプリセットモードです。
表示がないときは、マニュアルプリセットモードです。

プリセットボタンに放送局を記憶させるには

マニュアルプリセットモードでは手動で放送局を記憶させることができ、オートプリセットモードでは手動と自動で放送局を記憶させることができます。また、マニュアルプリセットモードとオートプリセットモードのそれぞれに、独立してAM/FM各6局ずつ(計24局)の放送局を記憶させることができます。

■マニュアルプリセットモードで記憶させるには

プリセットボタン1～6に放送局を手動で記憶させます。

① AM/FM切り替えボタンを押して、AM、FM放送の選択をします。

② 表示部に「AUTO-P」の表示が出ていないことを確認します。(この状態がマニュアルプリセットモードです。)

●表示部に「AUTO-P」の表示が出ているときは、オートプリセットボタンにタッチしてすぐ手を離し、マニュアルプリセットモードにします。

③ チューニングボタンで記憶させたい放送局にあわせませす。

④ 記憶させたいプリセットボタンをピッと音がするまで押し続けます。

音がすれば操作は完了です。

以後、プリセットボタンを押すだけで選局できるようになります。

■オートプリセットモードで記憶させるには

▶自動で記憶させるには

プリセットボタン1～6に自動で放送局を記憶します。旅先などで放送局の受信周波数がわからないときなどに便利です。

なお、放送局を新しく記憶すると、その前に記憶された放送局はすべて消去されます。

① AM/FM切り替えボタンを押して、AM、FM放送の選択をします。

② オートプリセットボタンをピッと音がするまで押し続けます。(表示部に「AUTO-P」の表示が出て、オートプリセットモードになったことを確認します。)

●受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットボタンには何も記憶されません。プリセットボタンに記憶させる操作が完了すると、ピッピッと音がします。

以後、プリセットボタンを押すだけで選局できるようになります。

▶手動で記憶させるには

プリセットボタン1～6に手動で放送局を記憶させます。

「AUTO-P」の表示が出ている状態(オートプリセットモード)にして、チューニングボタンで選局し、記憶させたいプリセットボタンをピッと音がするまで押し続けます。

音がすれば操作は完了です。



知識

- バッテリー交換やヒューズの交換などで、オーディオとバッテリーの接続が断られたときには、記憶されていた周波数はすべて消去されます。
- 受信電波の弱い地域では、オートプリセットでの自動受信はできないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングボタンで記憶させた放送局と、オートプリセットボタンで記憶させた放送局は一致しないことがあります。
- オートプリセットボタンを使って記憶させる操作を同じ場所で繰り返しても、受信電波の状態により、記憶される周波数が異なることがあります。

交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめセットされている交通情報局が受信できます。

交通情報を聞くには

交通情報ボタンを押します。

もう一度押すともとの状態にもどります。



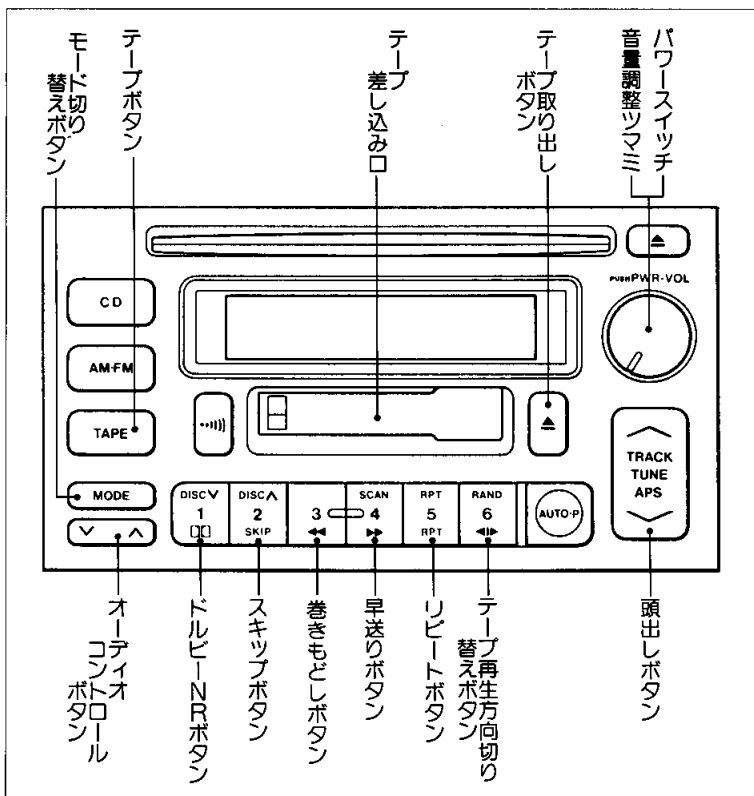
知 識

- 交通情報ボタンで受信中は、チューニングボタン、プリセットボタンを押しても切り替わりません。
- 新車時、またはバッテリーとの接続が断たれたときには、周波数は1620kHzになっています。

セットするには

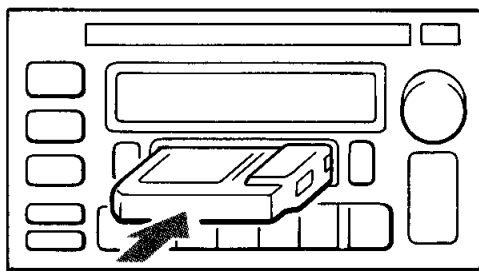
- ① チューニングボタンで、記憶させたい交通情報局の周波数にあわせます。
- ② 交通情報ボタンをピッと音がするまで押し続けます。

テープを聞くには



テープを聞くには

- ① エンジンスイッチをONまたはACCにします。
- ② テープ差し込み口にテープを差し込むと、自動的に電源がはいる、テープ再生が始まります。
テープが差し込まれているときは、テープボタンを押すとテープ再生が始まります。



テープをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生が再開されます。

テープを取り出すには

テープ取り出しボタンを押します。
テープが自動的に押し出されます。

ドルビー*(B)NRで録音されたテープを使用するときは

ドルビーNRボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。

- ドルビー(B)NRはテープノイズを約10dB低減します。

※ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 は、ドルビーラボラトリーライセンスングコーポレーションの登録商標です。

テープの再生方向をかえるには

テープ再生方向切り替えボタンを押します。

早送り・巻きもどしをするには

早送りがしたいときは早送りボタンを、巻きもどしがしたいときは巻きもどしボタンを押します。

途中で止めるときは、もう一度押すか、テープボタンを押します。

頭出しをするには（自動選曲）

いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

- 早送りをするとき、頭出しボタンの八側を曲数だけ（3曲目の頭出しの場合は3回）押します。
- 巻きもどしをするときは、頭出しボタンのV側を曲数プラス1曲（いまお聞きになっている曲も曲数に含まれるため3曲目の頭出しの場合は4回）押します。
- 途中で解除するとき、頭出しボタンをもう一度押すか、テープボタンを押します。



知識

次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

一度リピートボタンを押すと、解除するまで何回でも

同じ曲を繰り返し再生します。

もう一度押すと解除されます。



知識

次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分をとばして聞くには

スキップボタンを押します。

一度スキップボタンを押すと、解除するまで無音部分

をとばして再生します。

もう一度押すと解除されます。

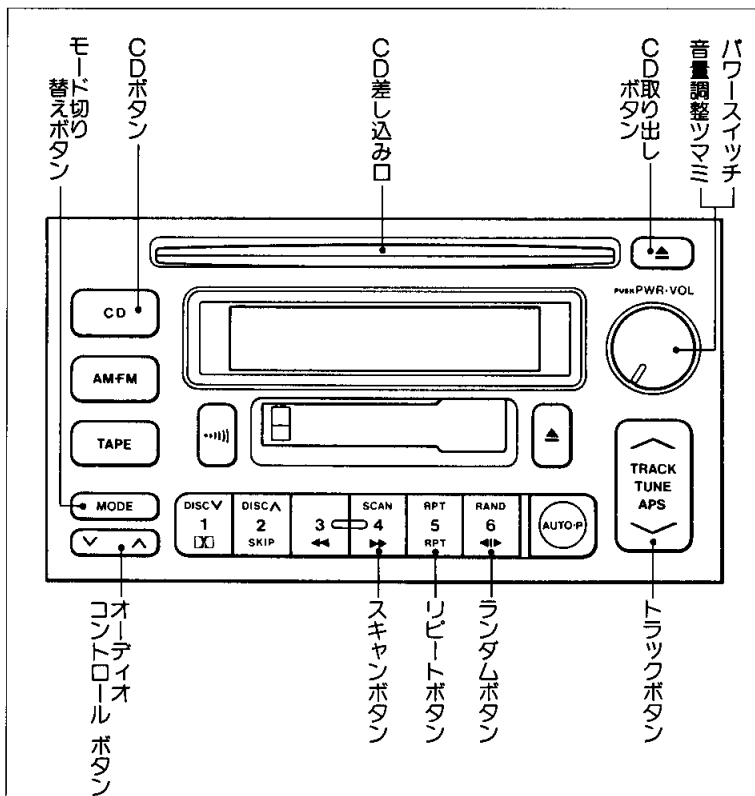


知識

次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき
- 曲の始めと終わりが明確でないとき

CDを聞くには



CDを聞くには

① エンジンスイッチをONまたはACCにします。

② CD差し込み口にCDを差し込むと、自動的に電源がはかり、CD再生が始まります。

- CDが差し込まれているときは、CDボタンを押すと、CD再生が始まります。
- 8cm CDを聞くときは、アダプターを使用せずにCDを差し込みます。



- 中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしします。

CDをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと再生が再開されます。

CDを取り出すには

CD取り出しボタンを押します。

CDが自動的に押し出されます。

早送りをするには

トラックボタンの

- 進めるときは∧側
- もどすときは∨側

をピッと音がするまで押し続けると、早送りモードに切り替わるので、そのままボタンを押し続けます。手を離すと、その位置から再生を始めます。

スキャンボタンについて

CD内の全曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生します。

- ① スキャンボタンを押します。
- ② 希望曲になったらもう一度スキャンボタンを押すと、その曲の再生を続けます。

頭出しをするには (自動選曲)

トラックボタンを押して希望の曲番を選びます。

- 希望の曲がうしろにあるときは∧側
- 希望の曲が前にあるときは∨側



同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

一度リピートボタンを押すと、解除するまで何回でも同じ曲を繰り返し再生します。もう一度押すと解除されます。

ランダム再生について

CDの中からランダムに選曲し、再生します。

ランダムボタンを押します。

一度ランダムボタンを押すと、解除するまでランダムに選曲し、再生します。もう一度押すと解除されます。



アドバイス

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止し、CD再生中はCDが押し出されます。この場合、次の処置をしてください。
 - Errが表示されているときは、CDボタンを押してください。

Err

- WAITが表示されているときは、表示が消えると自動的に再生を始めます。

WAIT

以上の操作をしても、機能が停止しているときはトヨタ販売店にご連絡ください。

- 8cmCDを使用するときは、アダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。